

山行報告書

'93 夏

信州大学
山岳会



目次

◦ 岳沢	2
◦ 飯綱山	2
◦ 蝶・悼念	2
◦ 屏風	3
◦ 中丁西横川	3
◦ 屏風	3
◦ 南丁・深南部縦走	4
◦ 錫杖	6
◦ 南丁・南部縦走	7
◦ 北丁 縦走	9
◦ 南丁・大縦走	12
◦ 前穂往復	20
◦ 中国 皇冠峰	16
◦ 夏合宿	20
◦ 事故報告	44
◦ 作文	47
◦ 名簿	48

- 岳沢 メンバー：3 party (伴野、広谷) (高橋、三木) (豊田OB、博多)
- 5/22 6:10上高地◎～8:15◎岳沢ヒュッテ9:00●
 コブ沢の雪渓はきつい。途中でザイルをだした。
 12:00 コブ手前のコルで懸垂5m。⊗ (高橋、三木) party は三木の
 アイゼンが壊れたため往路下山。
 コブの懸垂支点までスタカット3P (50+50+30)。核心には雪
 はほとんど付いていなくて難しくはなかった。
 14:00 懸垂支点。懸垂20m。●
 15:20 コブ尾根の頭●～16:30 天狗のコル●～17:15 岳沢B.C ●
- 5/23 朝、雨が降っていたため雪訓をやって上高地へ下山。

飯綱山 松本ほ 6/9

南側登山口 7:30 ● 山頂 9:30 - 10:00 ● 登山口 11:00 ◎

北信三山のひとつ飯綱山はかんたんに登れる山です。
 ちなみに飯綱山は今後山行計画書はいらないことになりました。

蝶ヶ岳 - 常念岳 (2+1) L 広谷, 松本, 石井, 井藤(利), 藤野
 上山, 佐々木, 山内, 原田

6/19

7:30 ミッヌ ●

10:00 390m 地点の水場 ●* 水を飲んで出発

12:45 蝶ヶ岳ヒュッテ ●

390m 地点の水場以降、雪渓がたかたんびてきた
 蝶ヶ岳ヒュッテへ続く道が雪渓でかく氷でいり分りに
 くい。 テン場に着くと風雨が激しくなる。

6/20

7:00 T.S 茶 ●*

7:20 蝶ヶ岳山頂 ●*

8:25 2592mのコーフ ◎ 重閣から太陽がのぞく

9:35 2572m コーフ手前 ①

10:40 常念岳山頂 ①

11:40 茶

3:05 ミツ又着 ①

穂高岳屏風岩 6/26, 27 L.高橋, 三木

6/26 4:50 上高地 ● → 8:30 横尾 B.C. ●

6/27 4:10 B.C. ① ~ 5:15 T4 取付 ① ~ (3P) ~ 8:30 T2, 東稜登り開始
~ (4P) 15m, 40m, 20m, 25m ~ 12:40 時間切れのため引き返す ~
けしき 4P ~ 13:30 T2 ~ 15:00 頃 (詳しい記録なし) B.C. ~ 18:30 頃 上高地

(反省) 東稜だからと 99% 少なめていたが、人工に不馴れだったため予想以上に
時間がかかってしまった (高橋)

中ア西横川 L.伴野、博多、広谷、伊藤 (勇)、佐々木、原田

7/11 5:30 駐車場 ● ~ 7:45 しらび平 ● ~ 西横川溯行 (◎時々 ●)

13:20 長谷部新道 ◎ ~ 14:00 千畳敷 ① 14:50 ~ 16:15 しらび平 ①

18:30 駐車場 ①

西横川は技術的に簡単であるが、1年生一人に上級生一人はつきたい。

上部には雪渓が残っていてパイルが役に立った。ザイルは出さなかった。

屏風 L.伴野、博多

7/19 12:40 上高地 (曇り) ~ 15:40 横尾 B.C. (曇り)

7/20 4:15 横尾 B.C. (小雨) ~ 5:00 T4 取り付き (雨)

T4 取り付きで本格的な雨になってきたので安全な所まで少し下りツェルトをかぶる。

7:30 登攀をあきらめ B.C. へ (雨) ~ 8:00 B.C. (雨)



Theme

Date

南ア 池口沢~池口岳~光岳~大根沢山~大無間山~小無間山
7/21 ~ 7/25 L.高橋, 三木

7/21 12:30 池口 ~ 15:30 大崩壊地附近 T.S. (O)

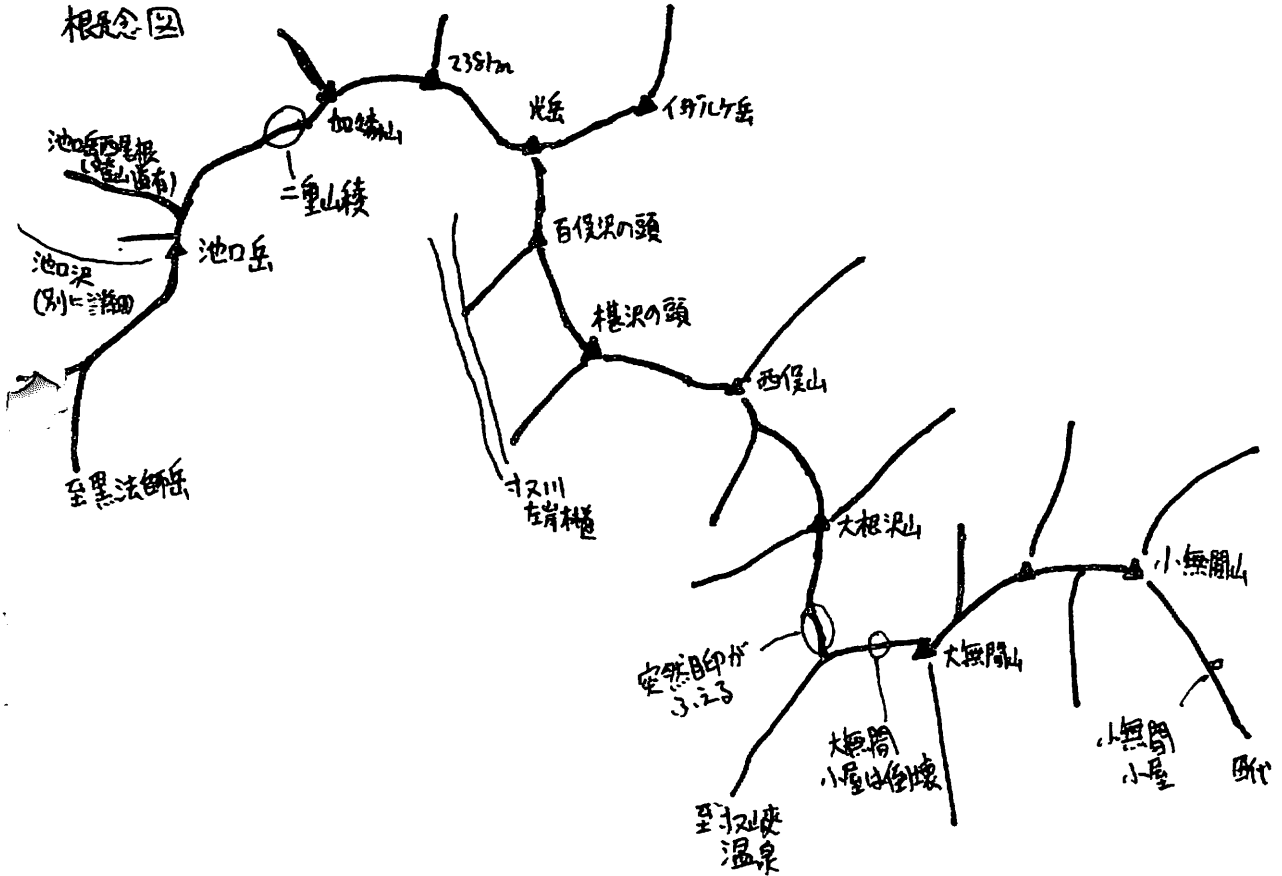
7/22 5:15 T.S. ~ 7:30 二俣 ~ 10:30 1900m 地点 ~ 13:30 主稜線 T.S. (O)-(O)-(O)

7/23 5:20 T.S. ~ 7:30 加森山 ~ 10:05 光岳 ~ 14:30 樫沢の頭 T.S. (O)-(O)-(O)

7/24 4:50 T.S. ~ 9:30 大根沢山 ~ 14:00 大無間山頂 T.S. (O)-(●)

7/25 6:00 T.S. ~ 7:30 小無間山 ~ 9:15 小無間小屋 ~ 10:50 田代 (O)

根念図

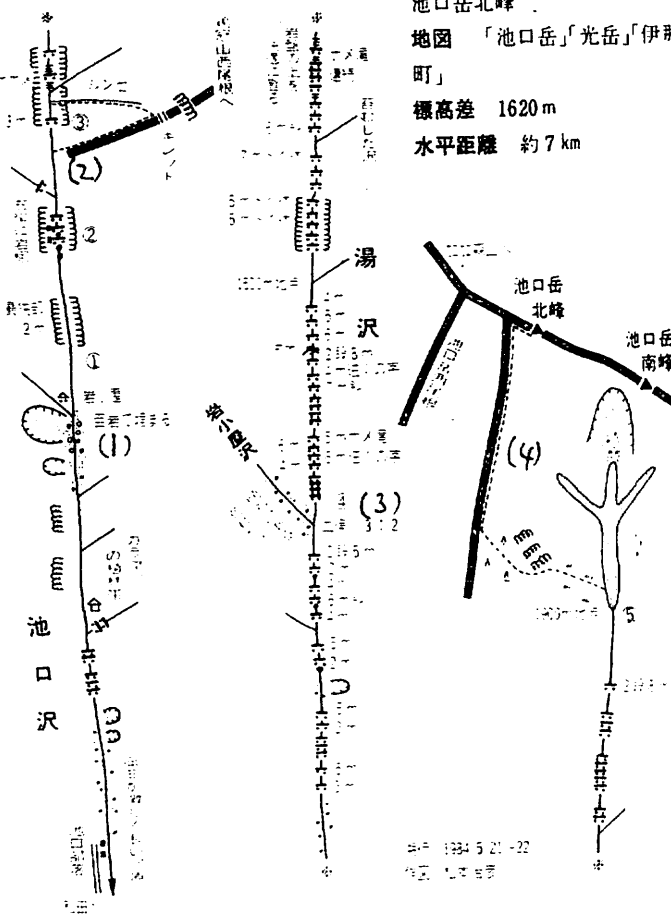


池沢溯行図

池口岳北峰
 地図 「池口岳」「光岳」「伊那和田」「上町」
 標高差 1620m
 水平距離 約7km

(松本治彦)

南の感想
 何ノ道といひながら、根界をススギる
 ほどの「グミユモなく、地固とコンクリを
 志しなけんが、大丈夫でしよう。
 だも水界は、ハシな、ぞす。
 三木



- (1) 1日目のテント場、崩壊地はここまで何ヶ所がある。~~岩小屋~~岩小屋はあまりせわしくないが、~~ここから~~ここから進むとすぐ第一ゴルジになるのでわかる。
- (2) このあたりは、~~あまり~~あまりあてにならない。この国では、ゴルジが三つになっているが、私にはずっと連続しているようにも見た。とにかく、いつのまにかゴルジ帯はぬけてしまった。
- (3) (1)もそうだが、一見左保の方~~津波~~に行きたくなりかちになる。左保の方がまっすぐつながっているからだが、変だと思ったらすぐたかめるべし。
- (4) の尾根は獣道で非常に歩きやすい。
 全体的に暗い印象の沢でした。二度といきたくありません。

○池口岳～加々森山： 目印はたまたまある。加々森山麓の二重山稜は間道だと元に戻るのがに猛烈なやるべきを強いられる。

○榎沢の頭～大無間山： 榎沢の頭からオヌ川に下りている登山道は途中、倒木で断されているらしい。この部分がこの山行の核心。地図とコンパスが使えないと行けないが、ヤブはなく歩きやすい。目印はあてにするほどは多くないがたまたま見つけると安心する程度なお。榎沢の頭のテントサイトは快適だが水がない。

○その他： 大無間から先は目印が多い。小無間小屋は非常に快適そうだ。この山域はルートインディンギにかかっているのので、広い屋根、枝屋根のチェックをしっかりとするべき。

(高橋)

錫杖 L 伴野、松本、広谷

7/27 (曇り) 17:15 槍見温泉～18:45 錫杖沢出合

7/28 1ルンゼ L 伴野、松本 (曇り時々小雨)

4:15 B.C～6:00 前衛フェース基部

北沢に入り損ねて時間がかかった。広谷はB.Cにクレッターを忘れ基部で待機した。

7:00 取り付き、登攀開始 6P (30+10+20+20+20+40)

1ルンゼルートを左に外れながら登った。6P目は左ルートの子ムニーを登った模様。6Pで時間切れ。

13:45 懸垂 3P (50+10+50m)

14:45 基部 15:15～16:00 B.C

7/29 左方カンテ L 伴野、松本、広谷 (晴れ後曇り)

4:45 B.C～5:25 基部

6:15 開始 6P (50+45+25+20+10+5m)

1P目は草付きの凹角。2P目は凹角からカンテ。3P目25mでテラスさらに広谷が7m程リードし5m程落ちるが無事であった。クライムダウンしてテラスまで。4P目クラックからハングを越え右上するところを直上した。此処までで時間切れ懸垂できる支点まで2P (10+5) ザイルをだした。

14:00 懸垂 4P (30+45+45+40)

15:55 取り付き 16:20～16:50 B.C 17:50～18:30 槍見温泉

錫杖はフリクションが良く快適だが、ルートがイマイチ分かり難い。

南アルプス南部縦走 L. 広谷, 伊藤(利)

7/31 小波温泉跡付近 T.S

8/1 5:35 T.S 発 ①

8:00 横沢出合手前 ① 水量が少く、渡渉は無理と判断。
引を返す。

10:30 釜沢 ① — 1:50 伊那大吾駅 — 2:40 飯田駅

5:15 便か島 T.S

8/2 4:45 便か島発 ②

5:40 西沢渡 ①

11:10 2478m 地点と小聖岳の間 T.S

このヤミ天の水場は、東側の樹林の中に少し入った所にある。
赤布で印があるのですぐに分かる。ただし水量が少ないので
雨の少ない年には涸れる可能性大。

8/3 (雨のため聖岳ヒストン中上。雨が小降りになるのをみはからず、出発)

8:40 T.S 発 ③

11:30 上河内岳 ●*

1:45 茶臼岳 ●*

2:15 仁田地 T.S ●*

T.S で南アルプス縦走パーティに会う。

水場はけ、こらぬい。

8/4 4:35 T.S 発 ④

5:05 仁田岳 ①

6:45 易老岳 ①

9:00 イガルケ岳 ①

10:00 光岳 ①

11:00 百俣沢の頭 ①

1:00 横沢付近林道 T.S ●

横沢付近の林道はかた崩れのため車は通行不能。しほら
く歩くと整備された(車の走れる)道になる。

8/5 5:45 T.S 発 ①

6:30 釜ノ島小屋 ①

11:55 大重沢寺前林道 T.S ①

林道沿いには色々な花が咲いている。大型のユリやアジサイ
などもある。まるで園芸種のように。

8/6 6:00 T.S 発 ●

6:10 大無限山登山口 ●

10:30 ミチくぼ ①

12:30 ミ隔ヶ池 ①

1:30 大無限山山頂 ①

道は良いとはいえないが、分かつにくいところには大抵マーク
かたくてある。日当りの良い所は笹やぶで、ヤブこぎだった。
大無限山山頂には雨水もためたプールがあるが、ホウワウなど
もかいて、あまりきれいとは言えない。

新大無限登山口かであたらしい。大重沢付近の登山口から
私達は登ったが、そこは^新登山口まで○分(サヌカ峡温泉側)
とのカンバンがあった。^{とれた。}

8/7 5:30 T.S 発 ①

8:00 小無限 ①

9:30 鋸歯の1898mピーク

11:30 1796.2mの電波塔のあるピーク

12:15 田代下山

鋸歯は急な登り下りがあり、精神的にもつかれる。

電波塔をまきつてからはなだらかな道になり、安心して
下れた。

北下・剣～槍・穂高縦走

7/31 ~ 8/1

L. 松本ほ, 上山, 竹元, 吉田

8/2 合流

7/31

けやき平 12:50 ⊙

オリオ谷 19:45 ⊙

日没のためTS変更。水平歩道はモスリングだと危険。
途中のトンネルではヘッドライトが必要。けやき平までの
鉄道は予約が必要だす。

8/1

TS 5:55 ⊙ 阿曾原温泉 9:00-9:50 ● 仙人湯 14:10 ⊙

仙人湯は幕営指定地ではないが、小屋の人に頼みこんで
1人1000円払うと幕営できる。社会人と言うと幕営させてくれない。
後立山連峰を眺めながらの露天風呂はサイコー。スイカと
ビールが むちゃうまい。

8/2

TS 5:05 ⊙ 仙人池 7:50-8:40 ⊙ 真砂沢 12:00-12:30 ⊙
剣沢 15:55 ⊙

TS直後から仙人池までと真砂沢から剣沢までは雪渓。
シュレンド等特に危険なところはない。仙人池からの
剣岳東面、ハツ山峰・チンネ・三ノ窓の眺めはすんばらしい。

8/3

雨のため剣本山峰往復中止。吉田出迎え隊 L 松本ほ

TS 11:10 ● 室堂 12:30 ● TS 17:00 ●

剣沢には電話あり。室堂には超ごうかホテルとハイヒール
ねえちゃんあり。山にいなから都会に出くわした気分がさくり。
剣沢にはジープン族もより。村抗意識メラメラ燃やす。スキー部
の合宿もいた。こには下界です。

8/4

TS 4:50◎ 別山 真砂岳 大汝山 8:40-9:00◎
雄山 一ノ越 獅子岳 ザラ峠 五色ヶ原 15:00◎

平生は大汝山が初めての3000m峰でした。霧で残念。
雄山は1人400円入山料です。僕たちは払わなかったけど。
雄山は集団登山のメッカ。雄山から一ノ越までは中高生の
大波瀾。待っていたらモリかない。獅子岳の手に
雪溪があります。五色ヶ原は尾瀬みているところで、晴れ
ていたうぎっときれいなところなんだろうなあって

8/5

TS 5:00◎ ^{とひやま} 鷲山 越中沢乗越 越中沢岳 7:40-
8:20◎ スゴの頭 スゴ乗越 スゴTS 11:00◎

アップダウンの多い縦走路。スゴTSは10張くらいしか
張れないのではやめに。

8/6

TS 4:55◎ ^{まてま} 間山 北薬師岳 薬師岳 9:05-9:50◎
太郎小屋 薬師沢 13:00◎

間山直下に幕営地跡あり。薬師岳はほんとにでかい。
河原での幕営はやめましょう。雨で増水して危険。

8/7

TS 5:10◎ 雲ノ平 9:35-9:45◎ 水晶岳稜線
2800m付近 13:00◎

雲ノ平の道は木道への整備が進んでいて歩きやすい。
稜線に出ると水場はないので注意。縦走2日目の
晴れたら、景色は見えなくてもうやだ

8/9

TS 5:00 ●+ ⇐ 水晶岳 ●+ 鷲羽岳 8:27 -
8:37 ● 三俣連華山荘 双六小屋 12:00 ●

水晶岳ではピッケルで火花を散らしながら水晶の岩掘りに熱中。みんなでたくさんとれた。三俣から双六へは雨のためトラバース道を利用しました。フェラインと2パーティーすれちがい、みんなそれぞれ知り合いと会う。

8/9

TS 4:25 ● 千沢乗越 7:35 ● 槍ヶ岳肩 9:50 ●

横なぐりの雨でなかなかシビアだった。松7ンはじめほとんどは双六TSに沈殿していた。槍肩のテン場は10時にはうまります。

8/10

TS 6:00 ① 槍ヶ岳 6:30 - 6:45 ① TS 7:00 ②

台風の接近で風が強かった。午後からは風雨ものすごくなった。それにしてもご来光の時の穂先の波濤はものすごい。思わずラジオで交通情報を聞いたが何も言わなかった。

8/11

TS 6:05 ● 槍沢 横尾 9:45 - 10:00 ●
上高地サマテン 12:00 ②

エスケープで無事サマテンへ。

結局この12日間をからっと晴れた日は正だの旧もなかった。しかしいろいろあったし、それなりに充実していて僕は楽しかった。これで1年がそれぞれ楽しかったって言ってくれたらこの縦走は成功です。

南ア縦走、光岳～北岳～甲斐駒～夜叉神峠

8月2日～16日（実動13日、沈殿2日）

▲博多 誠、伊藤 勇太郎、原田 裕介、山内 哲文

8/1 松本 = 平岡 = 和田 = 易老渡

平岡からはバスに乗らず、タクシーで直接、易老渡までいっぺんが安い。駐車場にテントが張れる。水あり。川で遊べる。

8/2 T.S. 発 520◎ - 面平 730◎ - 易老岳 T.S. 1230◎

途中、水場は全くないので、1人5L（ポリボトル1個専用、アウトドア2...1日目と2日目の飲料用、1日当たり1本）（5ポンドがかった）、20L上げに。三角点の50cm 脇にテントEはる。道は下り人が多く、かきやう。

8/3 T.S. 500● - 光岳 725● - 1ザルが岳 755◎

一 易老岳 930
1010● - 希望峰 1200
1210● - 仁田岳 1225
1235●

一 仁田池 T.S. 1315●

1ザルが岳、仁田岳は晴れとす。と、とてういピークのはた。仁田池の水場は遠い。往復20分。道が交錯してうらごに迷わぬよう(注)。広谷パーティー現わす!!!

8/4 T.S. 625◎ - 茶臼岳 645◎ - 上河内岳 900
1000◎

一 聖平 T.S. 1150◎

上河内岳は分岐から5分。晴れとす。晴れとす。

8/5 T.S. 430◎ — 聖岳 730 ①
830 ①

ついに晴れた!!! 赤石がデカ。奥聖は往復30分。

— 兎岳 1100
1120◎ — 大沢岳 1350
1420◎ — 百間洞 T.S. 1500◎

聖の下りはガシテいて急。兎まては長く急な登り。百間洞小屋の W.C. はこまにばかりで、ペーパー付きで、水洗で、広く。スゴイ!

8/6 起床 300● 雨、風のため、しばらく天気まら。

T.S. 900◎① — 赤石岳 1135
1200◎ — 大聖寺平 1250
1305◎

— 荒川小屋 T.S. 1330◎

百間平は野球とサッカーがこまに位広く。ガスのときは㊦。

8/7 T.S. 450 〇 — 前岳、中岳のユル 610
625 〇 — 前岳 645 〇
700 ①

前岳はユルが降りてこの平ら。カツ。高山裏へは二のすじ下の道 EUC。ユルにデポ。

— 中岳 705 ① — 大沢岳 755 ①
900 ◎ — デポ地 935
1005 ◎
— 高山裏 T.S. 1205 ◎

T.S. の15分位前の水場まで水は満タンにした方がよい。

8/8 T.S. 445 ◎ — 小河内岳 755
815 ●₊ — 烏帽子岳 905 ●₊
— 三伏小屋 T.S. 925 ●₊

デポ地はユルがカツらば、よい。EUC、パイオヒルネ。

8/9 ㊦7号の接点のため雨が断続的に降り、天気まら。

T.S. 花 610 ◎ — 塩見岳 930
945 ◎ — 熊平 T.S. 1350 ◎

北荒川小屋からは下にはいらず、稜線上 EUC。ピーク EUC に EUC。

8/10 T.S. 600 ⊙ — 農島小屋 ⁸⁰⁰ 815 ⊙

ニニ荷物とテポ。⊙の風が強、怪しい天気。

— 農島小屋 ⁹¹⁰ 930 ⊙ — 西農島岳 ¹⁰⁰⁰ 1015 ⊙

— 農島小屋 T.S. 1040 ⊙

風が弱そうなのでえらんでテントをはず。間岳があと近くに
てんてん入。

8/11

⊙7号は山口県から日本海へぬけようとしていり。とて
歩けぬような風ではな。とりの2つのテントはつばれて
小屋へ逃げていった。

沈没。

8/12. T.S. 500 ⊙ — 間岳 ⁵⁵⁵ 620 ⊙ — 中白根山 ⁷⁰⁵ 720 ⊙

風はピツリ止み。ピーカン。

— 北岳 ⁸³⁰ 1000 ⊙ — 左保大滝 ¹²⁰⁰ 1230 ⊙

— 両保小屋 T.S. 1320 ⊙

間岳～北岳はゴキゲン高速道路。中白根沢1頭から
大滝までフィナ石の急降下。左保沢は渡り返しが
5～6回あり。増水時は危険。両保小屋のオバ50人は入。

8/13

T.S. 445 ⊙ — 野呂川越 ⁵³⁰ 530 ⊙ — 高望池 725 ⊙

— 大仙大岳 ¹⁰⁰⁰ 1020 ⊙ — 山大岳 ¹⁰⁴⁵ 1130 ⊙

— 北沢長街小屋 ¹³¹⁵ 1340 ⊙ — 山小屋 1400 ⊙

バカ尾根は長～い。お盆時に入がやたら多い。

8/14 沈黙

山の通過で、激しい雨とモレツな風。

下山まで2日。明日あさ、こはストームクルーザーにはまり決意。

8/15 T.S. 455◎ - 山本峠 520
545◎

山本峠にデポ。

— 甲斐駒ヶ岳 730
815◎ - 山本峠 950
1020◎

— 栗沢山 1120
1140◎ - アサヨ峰 1220
1240◎

— 早川尾根小屋 1400◎

栗沢山～アサヨ峰は、北岳・山丈・甲斐駒のピーク3
がすぐ近くには見えゴキゲン。前線が停滞しうら
みずばのには晴れてラッキー。

8/16. 下山パー - 大炸裂の日

T.S. 500 ● - 白鳳峠 645 ● - 高嶺 745 ●

— 観音岳 920 ● - 葉師岳 955 ●

— 南御室小屋 1040
1100◎ - 杖立峠 1200
1215◎

— 夜叉神峠 1240◎ - 夜叉神の森登山口 1300◎

= 芦安温泉 = 甲府 = 松本

強い雨で道は川、稜線は台風並の風だが、下山パー
にかかればナニソノ。南御室まで下ると風はウソのよう。
余裕で、憧れの舗装道路に到着した。

天気は最悪で、長い長い縦走、ずるずると下山したが、
歩き終えたときには、まだ歩き足りない、不完全燃焼の感
が残った。それは天気のおかげだろう。

一年生は本当に頑張ってくれた。しかしもっと精神的に強
なると。注意は最下限しかしていないのだから、しっかり返事を
して、悪いところはなめてほしい。

雨ばかりの中、核心には晴れ、本当にラッキーだった。お走
りできたことは満足。 15

クラウン峰登山隊に参加して

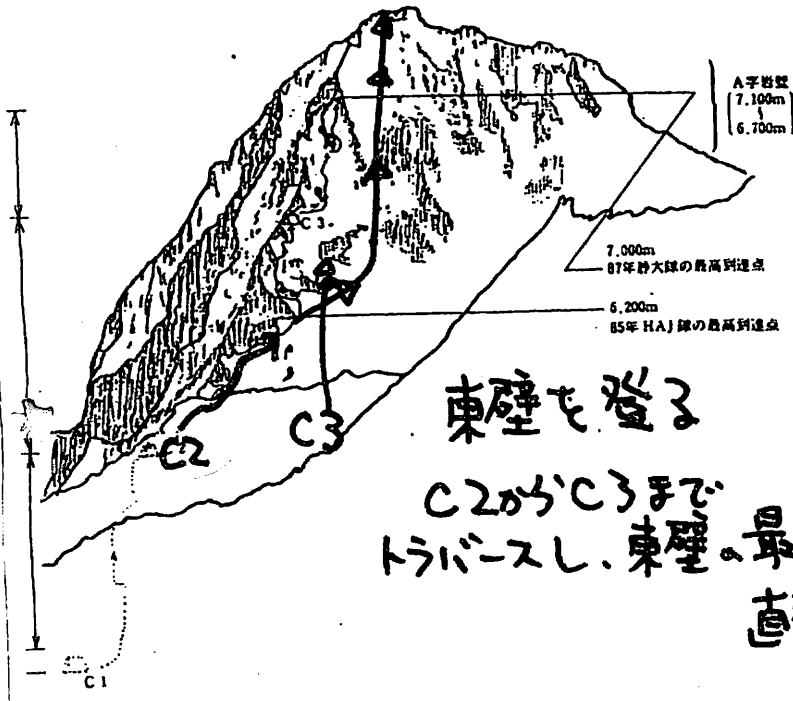
経済三年 長谷川哲也

日本山岳会東海支部の遠征における学生への扱いは、本当にひどいと言う前評判を聞かされた。登る山もたいへん厳しく、初めての遠征ということで、出発まで不安でたまらなかった。唯一、OBの田辺さんにしていただいたアドバイスが支えでした。けれど、僕自身の心配とは裏腹に、生涯忘れ得ぬすばらしい経験をさせていただくことができました。ルート工作もさせてもらい、且つ、頂上に立つこともできました。高所順応の方もうまくいきました。

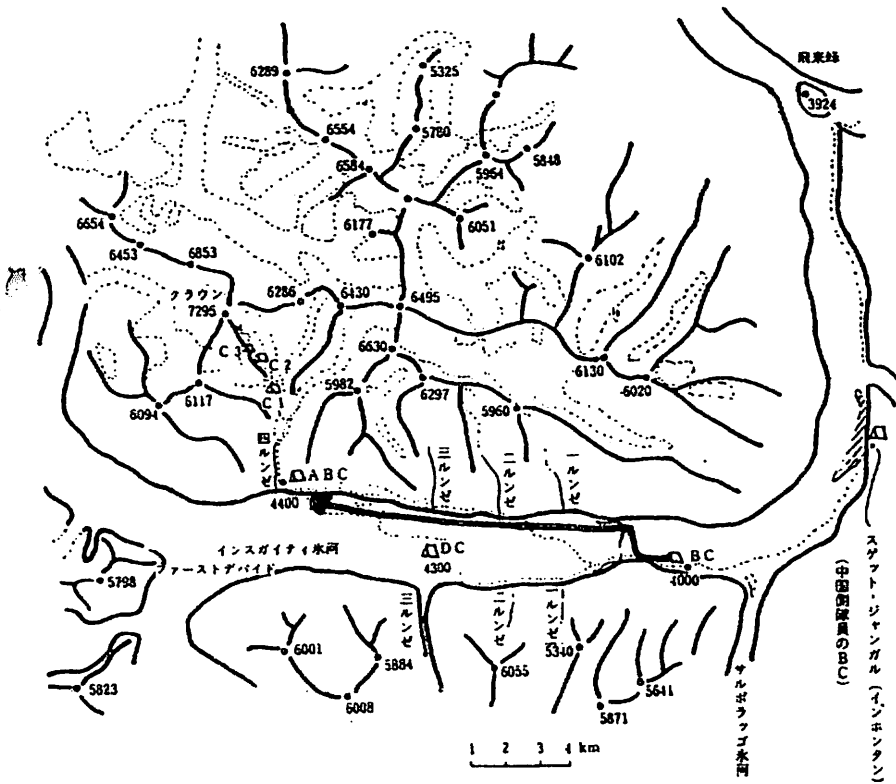
日記録

- 5 / 17 先発隊として日本発 名古屋～北京 北京泊
- 19 カシュガル到着
- 21 自動車による移動終了 マザダーラ到着
- 22 ラクダによるキャラバン開始
- 29 BC到着(4000M) 上部偵察
- 30 インスガイティー氷河沿いに荷上げ
- 6 / 7 ABC(4400M)に隊貨集結(ここまで低所協力員を雇う)
- 10 本隊と合流 パーティー換え C1(5100M)までルート工作
- 11 C1建設(5100M HAJ C3)
- 12 C1までの荷上げ 22日まで
- 23 C2(5800M HAJ C4)までの荷上げ 28日まで
- 29 C3(6350M)までのルート工作 学生パワーを生かすということで、宮坂さんと共に充当される。 7/1まで
- 7 / 2 パーティー替え C1からC2へ荷上げ 7/5まで
- 7~8 C3予定地のテン場整地
- 12 パーティー換え
- 14 C3入り

- 15 ルート工作 東壁へ向かうが荒天のため1Pも延びず 16まで
20 C3入り
- 21 東壁へルート工作に向かうが、6700Mを越えたあたりではじめて顕著な高度障害にかかる。つぶれてはいけないと思い、C1へ下降。少ない好天を無駄にしてしまう。
- 22 C1にてレスト この日工作に出た隊長以下2名がピークに到達
初登頂 (7295M)
- 23 25日まで荒天のため、全パーティーSTOP
- 27 4名登頂 C1⇒C2
- 28 4名登頂 C2⇒C3
- 29 **アタック** この日3名登頂
C3(6350M)1:30発
頂上(7295M)7:04到着 快晴 風強し 御来光を拝む
9:00下降開始
C3帰着 12:55 曇り 風強し
- 予定していたC4は、張れそうな場所が見つからず、C3からのアタックになってしまった。C3も6テン一つがやっとなので、1日1パーティー毎のアタックとなる。特にパーティー換えもなく、ローテーションの順で登頂の向かった。
- 30 C3・C2撤収後C1へ下降
- 8/ 1 C1から荷下げ 2日C1撤収
- 2~3 ABC⇒BCへ 荷下げ
- 4~5 岐阜大子リン峰偵察へ一緒について、サルコラッポ氷河を南へ
- 6~14 インホントン(K2北面のBC)にてラクダの迎えを待つ。
- 15 インホントン発 キャラバン開始
- 20 マザダーラ到着
- 28 北京到着 登頂証明書を戴く
- 30 帰国 名古屋空港到着20:15



クラウン東南稜と東壁登攀



インスガイティ氷河 (クレバス氷河) とクラウン

朝焼けのK2峰に万歳

クラウン峰登頂『執念でアタック』
帰国の東海隊



クラウン峰登頂に成功し無事帰国、出迎えの人たちと喜びを分かち合う隊員たち＝30日午後9時10分、名古屋空港で

中国最深部のクラウン峰（七、二九五呎、中国名・皇冠峰）の初登頂を果たした日本山岳会東海支部登山隊の隊員十二人は三十日夜、「全額登頂」を羊土産山隊実行委員長ら関係者や

に帰国。名古屋空港に降り立ち、未踏峰制覇の喜びを改めてかみしめた。（登頂カラー写真①面に）空港には、尾上昇・同登

家族らが出迎えた。隊員は皆、雪焼けした真つ黒な顔。あちこちで万歳三唱や胴上げの輪ができた。

徳島和男隊長（右）＝愛知県愛知郡日進町＝は「天候が異常で、夏なのに朝から雪が降る日が周期的に続いた。気温も氷点下三〇度近く、顔面が凍りつきそうなほど」。四方を急しゅんな岩壁に囲まれたクラウン峰は、新雪が降るそばから崩れた。初めて挑んだルートは、標高六、三〇〇呎の最終キャンプから上部にテントを張る場所すらなかったというが、チームワークと登頂への執念で克服した。

寒気と強風の悪天候を縫ってたどりついた山頂は、ナイフの刃のように細かった。第四次アタックで登頂した夏目正憲隊長（左）＝愛知県稲沢市＝は「天候が崩

れそうだったので、夜明けと同時に登頂した。目の前と、笑顔がはじけていた。

1993. 8. 31.
中日新聞.

(サマテン山行)

前穂高岳往復 9/13

└ 松本ほ, 中村聡子 (部外者)

サマテン 5:25〇 岳沢ヒュッテ 8:00-9:00 ①

前穂山頂 13:55-15:10 ① 岳沢ヒュッテ 18:10-18:30

サマテン 20:20 ②

私, 穂高は初めての穂高岳ピークで感激仏としがってかんじ。
最終下山時刻を過ぎたことについては別紙で報告します。

夏合宿 9/22~29 剣岳周辺

└ 伴野, 高橋, 田尻, 三木, 博多, 松本
伊藤 (制), 伊藤 (専), 上山, 佐々木, 原田, 藤野, 山内

○個人の反省・感想

1年生は全体的にフリーの力はあるようだ。しかし、支点を満足につくれな
い者や落石等危険に対して注意が足りない者が多かった。今後リードの経験を
積むと、難しさ怖さや面白さがもっと分かってくると思うが、山で反省したこ
とをゲレンデで思い出してみるように。スピードアップも心掛けること。

2年生は少ない人数でがんばっていたと思うが、時々注意不足な行動や態度
が目についた。

冬に向けて、気を引き締めてトレーニングに励もう。

伴野 達也

夏合宿の反省と感想

一、二年生に文では、反省会の時に言ったので触れない。個人でしっかり反省してほしい。決局は自分でやることだから。個人的にはリーダー部員というものの重みを時間がたつにつれ感じる。何しろ上がいないのだから、自分で自分の行動を監視しなきゃいけないが、どんなにうまくやったつもりでも満点ということがないのだ。そもそも、絶対的な評価の基準さえもないのだから。だから、自分の中にそういうものをしっかり持たなければならぬが、~~自分の中~~私の中のそれは吹けば飛びそう。山へたくさん行って、経験をもうと思う。山はまだまだわからないことが多すぎる。

(高橋)

⑧ 個性と、ピラピラなのは結構かた。あ、後日だがピラを残置したりは、体力。岩登りとピラともおろした。

田尻

夏合宿の反省・感想

合宿前の悪天候とはうってかわって、好天にめぐまれた合宿だった。しかし、好天に加え、極端に足のおそいメンバーもいなかったのにテントサイト到着が夕暮れになってしまったのは残念である。このことは千ネに行く日にもあらわれ、バスに帰ったのはうすぐらくなってからだった。

夏合宿の反省と感想

アプローチでは隣のバクダンの導火線に火がついてビビってしまい、一年生を見ろ余裕がなかった。また二年の夏合宿の二モツは重い。事前にボウカトレーニングも必要と思う。そして、もっと回りを見ろたい、今自分が何をすべきか、考えて行動をしていきたい。

トインに関しては、登ったところに登れ、充実していた。しかし見失われやすい本チャンの危険を再認識し、またザイルワークやプロテクションのとり方（フンズ、タツなど）など、もっともっと学んで、さらなるスピードアップを図りたい。この夏のウツパンを全て晴らす楽しい合宿だった。

< 博多 >

夏合宿の反省と感想

BCまでの道のりで 50kg を超えるキスリングにつぶされそうになり、1年生の面倒なぞみている余裕はなかった。岩登りについては、ハツ峰V峰の1P目リードをせみになってしまった。どんなに怖いところでも知らないハーケンにクリップしたり浮石をつかむようなことをしないよう注意したい。

感想としては、2日熊ノ岩BCに着いた時の感動は忘れられない。はるかかなたでひっきりなしに光る夜の雷雲、空いっぱい星に天の川、快適なリッジ登はん、遠くでの落石の音、青空のもとでこぼれまわる他パーティーのコールの声、ガスの剣下峰山頂、登はん中の「あらよ」コール、雲海の向こうにそびえる後立山連峰、木にキスリングをひっかけながらの悪戦苦闘の蔵助谷、そして人ごみの黒幕谷。今思えば下冊での普通の生活は実は普通ではないことに改めて気づく

ほてか

反省 ~

- ジョギングを忘れた。
- BCへの行き帰りでの岩場で時間がかかりすぎた。何度もおぐつこけてしまった。今後はもっとうまく越せようになりたい。
- Tシャツ一枚でキスリ=グを背負ったため1日で皮がむけてしまい、2日目になった。またキスリ=グの中にシズポ=グを横に入れて穴を開けてしまった。
- 1日目のエヤンでガス、MSRの使い方をまるきり忘れていた。
- 3つ足の下を何度か食器をくぐらせてしまった。こんなようなテント内のミスはよくあった。
- 登山はまあなんとかできたが、ビレイやザイルをどう支える作りかなどまるでダメであった。まずビレイ時はおいでせす、たてすリードをいいる人を気にかけ、きちんと感をもつようにしたい。ザイルはリードのつかたままをすくはり出さず、ちゃんとつくり返すようにしたい。若登山は命に直接かかってくるので、まじになて常に気を配らなければならないようにしたい。ザイルがつかまえてリードしている人を何度かストップさせてしまいました。
- 取付まじにせんとんがし場を通過してまじなけ落石を起こさないように注意して歩いたつもりだけど何度か落石を起こしてしました。また他人の落石にもおけずにあたりましたことがあった。落石にあたって死ぬのはまじでイヤなことだし、逆に他人にあてて殺すのもイヤなので絶対落石には注意したい。
- 雪けいは一度もこけなかつたけどすべりるようになってヒヤヒヤしたことが何度もありました、もっと石畳に歩けるようにしたい。

感想 ~

- なんと荒れた道と岩場の多い道をキスリ=グで行くのは考えもめたと思う。
 - エッセの同時代に塩がなかったとアカボウのマヨネーズが少なかったのと登山の日の重しがたつてきたことが気になった。
 - BCまでつづけたことにはつづけたけど鬼行まではいかならなかったよかった。もっとトレーニングして強くなりた。
 - はじめの本番は恐怖が3割でたてまじが1割だった。
- 最後に夏合宿はつづけたけどとても勉強になったし、いい経験にもなったと思う。でもまた来年あの道を歩かなくてはならない。

反省と感想

夏合宿では1日目と2日目にバテてしまい、体力のなさを痛感した。重い荷物を背負っているのと登りになるとすぐ苦しくなってしまう。山登りをもっと経験しなければならぬと思う。登山最終日にはシュリングを忘れてしまった。上級生に言われて初めて真剣に反省したような気がする。登山ではリードの人のビレイをするとき、少し緊張感が足りなかった。エッセンはこれといって失敗がなかった。

感想としては初めての本キャンはまさまじく高度感があり、天気さえよければ楽しい。ザイルの長さを伝えるのが大切だが、大声出しても聞こえない。釜淵ルート(4ヶ所)は垂直、ほくく、ヒンがなくて風があって落石しそうでビレイポイントが狭くってとっても殺人的だったけど、それなりにいい経験になった。

~~初~~ 天気にもぐまれ、緊張が足りない合宿だった。これからもっと気をひきしめねば。

佐々木耕平

はらた

反省… 岩登りという行為に対して甘さがあった。
支点フカ作れない。ビレイ中に他の一年と話をして
たり、ザイルの流れをスムーズにできなかったり、登
るという行為に集中したあまりに、先輩の安全
の確保に欠けていた。今思うとはずかしい限った。
最終日、前日の剣岳のピストンの帰りにグリセードが
できなかったり、雪渓での歩き方が不十分だったり。
今思うと反省だらけだ。岩登りに関しては、もともと
緊張して行動しようと思う。

感想… ハッキリ言えて夏合宿までは、岩登りはあまり
好きじゃなかった。縦走などでは得られるピークでのような快
感が岩トシとかじゃ得られなかったからだと思う。

だけど本チャン岩は、とても何ともいえない興奮があった。
たまたま、自分は、おずかしいルートが多くて登る前は、
不安でいっぱいだったが、今となっては、そういうルートが
多くて、ラッキーだったなと思う。はやく上級生みたいに
ハーケン打ったり、上で支点作ったり、リードしてみたりしてみ
たいと思った。

“岩登りに目覚めてまたかばや!!”

夏合宿の反省と感想

僕ははじめ自分のザックを持った時、こんなにして本当に歩けるんだらうかと思ってしまった。1日目、2日とペースは遅かったが、意外と歩けるもんだと実感した。熊の岩についてからの登はんはとも快的で楽しいものでした。反省点がたくさんあった。まず支点を作るのがあまりに遅く忘れてしまい登りのが遅れてしまった。それにビレイしてからの隣りにいる1年生としゃべっていたこととあった。テロで登り人はトップの人の動きを常に見てザイルの流れや落石などに気を注ぎをほらなければいけないんだというのが大きな反省点でした。あと落石が多かったのも反省点の一つです。今度は自分かトップとして岩をどんどん登ってみたいと思います。

伊藤利信

夏合宿の反省

藤野 稔

今回の夏合宿ではまたもや体力不足を感じさせられた。40kgを超える荷物はすごかった。冬に向けて何としても体力をつけたい。岩登りに関しては、ビレイしている時に緊張感が無かったと思う。又、落石もたくさんしてしまつた。もっと集中力を持って行動したい。

夏合宿の感想

今回は天気にめぐまれ、岩登りを存分に楽しむことができた。特に千ヶ岳は、高度感満点ですごかった。本キャンはおもしろい。一番忘れられないのは、月夜の中でハッ山、長次郎谷、そしてそのむこうの雲海が薄ぼんやりと輝いているのをBCから見たことだ。幻想的な夜だった。一生忘れたい。

夏合宿の反省

夏合宿を終えて、新人合宿よりも思いつく反省点が多いです。新人合宿ではただ無事に終えたという満足感の方が優占されたけど、今はそれだけじゃだめだなとも思います。雪渓の上では雪割の成果がほとんどおぼせませんでした。林道でも滑りそうだなと思っても足を踏み出したリもほした。それに反省会の時に言われて初めて気付いたのですが、ビレーのやり方がまだ責任の重さを感じていないと思いました。この反省点の共通点は自分の甘えだと思っています。いつも誰かが見てくれる、先輩のリードは安全だという。山では他の人を信頼できるけど、やはり頼るのは自分自身でなきゃだめだと思っています。たくさん反省すべき点があるけど、何よりもまず自分がしっかりしたいです。それに岩登りの時、私がリードしている人を信頼している様に安心できるビレーをしたいと思っています。

上山

夏合宿の感想

何よりも晴れてよかったです。

3日以降(最終日除く)はずいぶん幸福な日々でした。

北の縦走に比べると初日とかも数分

つらさは知らずでした。やはり太陽は

偉大だと痛感です。でも下界に帰って来て

ずいぶん辛く、悲しい事が2つあります。

胃がめちゃくちゃ大きくなった事、小さくしようと

決意しても意外に反する行動に出てしまうの

です。もう一つ

・メット焼く... 実家に帰った時 中学の

同級生のオシャレな姿が眩しかったさ。

私はどうして大阪駅から足の痛さに

サンダラーと悩ましてしまったんだ...

いつの日だろう 世間の目を気にしなくなったのは...

反省 山内 哲文

○パッキングが悪い (背中、ピッケル)

○ヒール注意

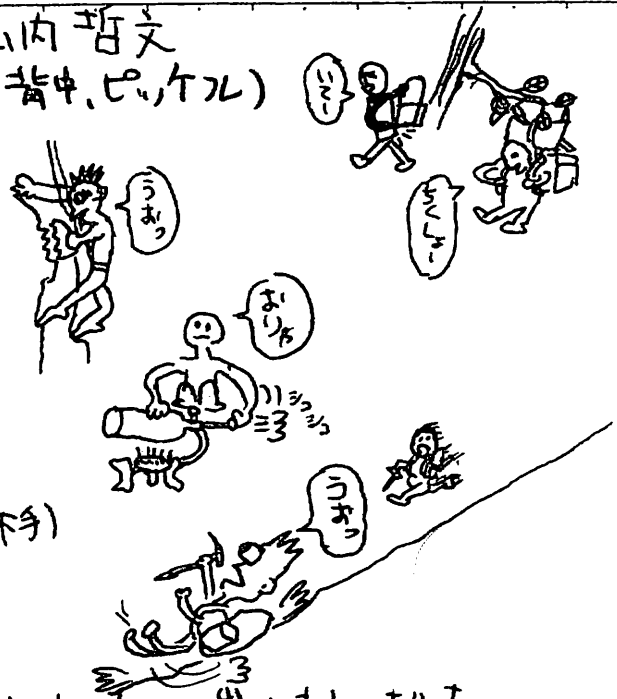
○うき石注意

○落石注意

○MSR無知

○グリセード危険(下手)

○雪けい降り



感想

○星がきれいだった。岩もきれいだった。

○雷もまたきれいだった。雲もきれいにきれいだった。

注: この「きれい」とはただ単に美しいという意味ではなく
もっと奥深くは広いふくらみをもった意味での「きれい」である。

○係からの
報告・反省

会計.

収入: $18000 \times 12 + \overset{5700}{\cancel{6700}} - 2100 \times 12$
 $= \overset{195800}{\cancel{196800}}$ 円.

支出: 食費 91415 円 1004円/人一日,
 装備 48116 円
 雑 2410 円
 交通 53560 円
 計 195501 円

$\left. \begin{array}{l} 973- \\ 101- \end{array} \right\} \begin{array}{l} 13870 \\ 往 14860 \\ 復 16120 \\ 荷 1890 \end{array}$

残金: 299 円.
 28

会計の反省.

集金は多めにしないと、きびしい思いをします。

そこから、不参加の人ははやめに言わないと、食糧を買いこんでしまうので、

みんなが迷惑します。

ESSEN の反省

- やはり初日ぐらいはお昼に果物がついた方がよいように思う
- お米は1.6合で適量だろう。
- 事前の注文はぬかりなくやろう。
- 登はん日と行動(歩く)日とでは昼、レシヨンの量を変えた方がよいようだ。(登はん日が少)

装備の反省.

使用量

- ガス 8L . 92cc / 日・人
- ローソク 1.2本 . 0.17本 / 日
- メタ 61本 . 8.7本 / 日

残置

- シリング 6 . ボルト 1
- ハーケン 6 また 紛失 4 行方不明 10

夏休み前、中はみんな装備を山にもってこいでしまうので、チェックしていない物を買いきりえきのは、夏休み前のはやいうちにすべき。

ハーケンのフロモリが少なかった。個装でランタンがあったのでローソクの省費量が少なかった。また MSR のフュージョンはメタ半分を済むので、メタの省費も少なくてすんだ。

また、ガスは調子が悪く、はやめに MSR に世代交代すべきかもしれない。装備のチェック、把握は全体的に甘かった。

一年生はハーケンの回収にはもっと気を遣うこと。紛失が多すぎた。

○ 行動記録

9/2

○ Aパーティー

2- 井野, 博多, 伊藤(利), 上山, 原田

8:05 黒四ダム発 ①

16:15 内蔵助平着 ●小

— 感想 —

道が悪くてすごく苦労した

明日は、少しは楽な方がいいなと思う。

① Chan

○ Bパーティー

1 高橋址, 三木址, 穂高址, 山内, 佐々木, 伊藤(勇), ~~井野~~
藤野

8:00 黒四ダム発 ①

16:15 内蔵助平下着 ●小

— 感想 —

40 kg をこえるザックを初めてしまい、おごく疲れた。

登りでは足がフリフリ、バランスも悪くて、

何回か危ないこともあった。早く B.C に

入りたい。

ふじの

8/23

°Aパーティー L伴野 穂高 利信 藤野 山内

5:30 内蔵助平T.S ◎

9:00 ハシゴ谷乗越 ◎

9:45 山見所から出発 ◎

12:55 真砂沢山荘着 ◎

19:20 熊の岩T.S着 ◎

死ぬほど辛かった。天気が良いのが一番の楽しみだった。
熊の岩T.Sはいい所だ。星がきれいだった。
ふじの

°Bパーティー L高橋, 三木, 博島, 佐々木, 原田, 上山, 勇太郎
記録: 勇太郎

5:20 内蔵助平T.S ◎

8:15~8:55 ハシゴ谷乗越 ◎

12:55~13:15 真砂沢Dッジ ◎

14:28~14:50 長次郎出合 ◎

19:20 熊の岩T.S着 ◎

こんなに暗くなるまで歩いたのははじめての経験です。
雪溪の登りではけこうこわかった。キリキリと息を吐いて
背中の皮がむけて大人になりました。熊の岩は
天国のような場所です。この日の夕食は22:30から
でエマシの人ばかりでした。4時間の行程が
ホロボロに終わりました。

8/24

○Aパーティー L 伴野 . 原田 伊藤(勇) 上山 記録 山

Bフェース 京大ルート

3ピッチ
40m +
50m +
35m

- 8:00 B.C 出発 ○
- 8:30 岩小屋 ○
- 8:40 取付き ○
- 9:15 登り始める ○
- 12:20 Peak 着 ○
- 13:10 " 発 ○
- 14:10 56の洞 ○
- 14:20 岩小屋 ○
- 14:40 B.C ○

昨日までの生活に比べると
あまのギャップに夢の様だ。
岩はすごい緊張した。
何れ暗れてF.C.F.C.

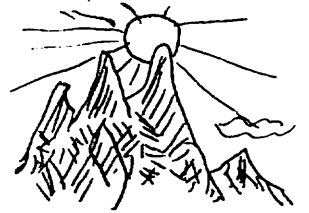
○Bパーティー 高橋, 藤野, 山内

Cフェース 剣積会

- 9:00 登り開始 ○
- 12:20 Peak 着 ○

以上と同じ

感想: 岩がきれいだった。



○Cパーティー L 三木と 佐々木, 伊藤(利)

- 8:00 B.C 出発
- 8:30 Aフェース 岩小屋
- 8:50 登り始める (Aフェース 魚津ルート)
- 9:35 1ピッチ 終り ... 30m
- 10:20 2ピッチ 終り ... 35m
- 11:05 Aフェース 頭到着 40m
- 12:10 岩小屋 着
- 12:45 岩小屋 発
- 13:10 B.C 着

天気も良く、全般的に
楽に登れた。ザイルの
残り量を伝えることは本チャン
ではしてモ大勇気と思っ下。

記録 佐々木 新平

°Dパーティー

L松本正, 博多

記録ほか

BC 8:00 ○
 Aフェース 8:20 ○
 岩小屋 8:30 ○
 取付 8:40 ○
 Dフェース 9:05 ○
 取付 12:00 ①
 Dフェース 12:25 ①
 岩小屋 12:35 ①
 取付 13:10 ①
 岩小屋 14:25 ①
 取付 14:30 ①
 BC 14:40 ①

Dフェース 久留米大ルート
 1P目 35m リトハ
 2 35m リトハ
 3 30m リトハ
 4 45m リトハ
 5 40m リトハ

<感想>

快晴のもと快適な登山が楽しめた。(15)

8/25 別動隊 (田尻途中入山)
 8:30 トロイ-バス黒血駅発 ○
 11:30 クラノ助平 ○
 14:30 11コ谷乗越 ○
 16:20 真砂山頂 ○
 山頂を草の間にかけて登る。

1/26 5:00 起 ○
 6:00 発 ○
 10:00 久留米T.S. ○
 * 例年より雪が多かった。
 この区と食器を洗ったり野菜を切ったり
 した。17:00になってもこないの。
 つかえに行くと18:00に本隊と合流し。
 19:00 T.S.
 台風が近づいてくると怪しい。

8月25日 Aパーティー L伴野+L、佐々木、藤野、山内

◎ Cフェース右方ルート: 快晴
 6:20 登り始める。
 2ピッチで取付き(45m+45m)
 7:10 取付き
 2ピッチ(45m+33m)
 9:10 終了

取付の場所があまりはっきり
 しない。体系の見てもよくわら
 ない。登りはけ、こ楽でした

◎ Aフェース中大ルート: 快晴
 11:10 取付き
 13:30 終了
 2ピッチ(50m+40m)

あまりに紫外線が
 目覚めがすこかった。
 1ピッチ目の途中に
 かなりキツイ壁があった。

記録 佐々木耕平

8月25日 B10-7 L 高橋・上山・藤原 記録 藤原

- 6⁰⁰ A2 → 中大ルート
 - ① 6:15 登り始める
 - 7:50 7ピ、A (35m)
 - 8:35 2ピ、F (50m) A2 → 2頭
 - 9:05 頭上出発
- 6⁰⁰ A2 → 魚津高ルート
 - 9:58 岩小屋前から取付の1ピで登り始める
 - 11:30 1ピ、F (50m)
 - 12:30 2ピ、A (50m) A2 → 2頭
 - 13:05 頭上出発
 - 13:45 B.C 着

感想。中大ルートは4級アスナというだけ、とてもむずかしく感じました。本糸と岩との間に強く感じました。でも7ピで登りたので、ちよとじいんがっまりました。魚津高ルートは高橋さんがおんぼろで、取付からのぼろ3ピでした。こはより岩小屋前からの凹角の1ピで止まりました。しかしこの凹角にはリングがありAOで登りこ越せました。3級以下と思えないむずかしさです。こはかく登りたこはないうですが、登り2本登りおえた時は、うがひまてました。

8月25日 C11-7 L 三木・原田・伊藤 (4)

● B7E-7 京都府大ルート：快晴

- 5:20 B.C 発
- 5:45 岩小屋着
- 6:40 登り始める
- 3ピ、F 45m + 45m + 20m
- 11:00 終了

浮石が多く
石がくぐり難く
落ちこぼれてきた。

● C7E-7 剣菱会ルート：快晴 のち 雨 加わります。

- 12:05 岩小屋着
- 12:35 登り始める
- 5ピ、F 45m, 30m, 30m, 40m
- 15:20 終了
- 16:20 岩小屋着
- 16:40 B.C 着

7ピ、F-が可成り
1ピ、F-を5ピ、L
3時間弱でした。

記録：伊藤 (4)

8月25日 Dパ-テ-

博多 松本 記録 松本

BC 5:20 ○

A左-ス魚津高 1P 40m 2P 40m 3P 15m

A取付 5:55
6:05 ○

A頭 7:20
7:40 ○

B左-ス京大 1P 45m 2P 40m 3P 15m

B取付 8:10
8:25 ○

B頭 9:45
10:00 ○

A左-ス中大 1P 35m 2P 45m 3P 15m

A取付 10:20
10:25 ○

A頭 11:35
11:50 ○

BC 12:45 ○

<感想>

1日に3本巻も巻くことが出来た。(ほ)

8月26日 Aパ-テ- L伴野主、伊藤(勇)、伊藤(利)、藤野

BC 4:55 ◎

中央44=-左72ス魚津高ルート

取付 10:10 ①

中央バンド 13:55 ◎

計 4セグ (25m, 15m, 25m, 45m)

844=- cd 75m

取付 14:25 ①

844=- 頭 16:20 ◎

計 2セグ (20m+, 50m)

-感想-

全体的に快適で楽しかったが、
こわい所もいくつかあって、スリルが
ある。景色がサイコーで、
テンションは可ばらしい。

ふじの

8月26日 Bパーティー 高橋・佐木・原田 記源田

B.C. 4:55 発 ①
5:15 岩小屋 ②

— 丸尾・新村ルート —

9:45 登山開始 ①
11:45 登山終了 ①

2ピッチ (40m + 35m + 30m)

— 感想 —

今日は、2つともむずかしくてえらいむ(!?)にあった。

本キャンプであぶみを使うのは、けこーむずかしかった。

筑豊ルートの2ピッチ目でガバを登るのにすさまじく苦労して
(すおおに私の身長は165cm) 足が下り健康器で3分休みの
ほすのりもより伸びてしまった。

原田さん

登山杖の口は手
も少し伸びる

(足と手の図)
よく伸びる

Cパーティー 三木 上山 山内 ② 山内

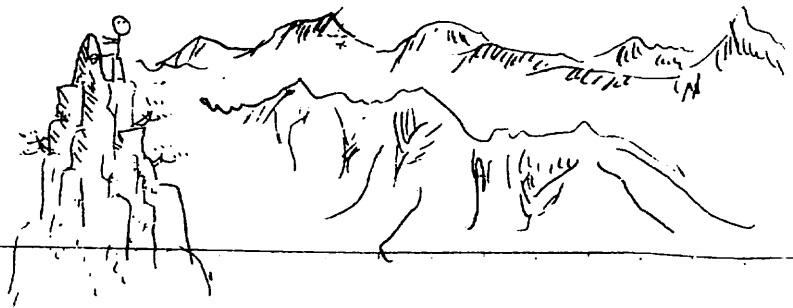
B.C. 4:55 発

9:55 登山開始 ① } 中央谷にー
11:20 終了 ① } 2ピッチ (35 + 45)

1:10 PM 登山開始 ② } 左稜線上部
4:25 PM 終了 ② } 5ピッチ (40 + 20 + 45 + 45 + 40)

— 感想 —

山がきれいだった。



8月26日	Dパーティー		松本.博多	記録	松本
BC	4:40	①	千ヶ瀬左横線		
三感	7:05 7:15	①	1P	20m	7P 40m
取付	7:45 8:05	②	2P	20m	8P 40m
T5	11:10 11:40	①	3P	25m	9P 40m
千ヶ瀬	13:45 17:00	② ①	4P	45m	10P 25m
BC	18:50	②	5P	40m	11P 25m
			6P	35m	12P 45m

<感想>

すげえ快適なルートで、すげえ快適に走れて
すげえ楽しかった。(17)

8月27日 Aパーティー L伴野さん、原田、ふじの

6:40 BC 着 ●

7:05 若小屋 ●

7:30 A72-入魚津高ルート取付 ●

1ヒョウ 25m

2ヒョウ 10m

3ヒョウ 30m

4ヒョウ 30m

9:40 A72-入の頭 ●

10:55 D72-入久留米大ルート取付 ●

1ヒョウ 30m

2ヒョウ 30m

3ヒョウ 25m

4ヒョウ 45m

5ヒョウ 40m

15:00 D72-入の頭 ●

16:05 BC 着 ●

久留米大ルートの核心理で、雨が降ってきて、
えらいめにあった。火事場のワカで、あふみの
一番上に乗ってしまった。 原chan.

8/27 B10-71 - L高橋 佐々木 山内

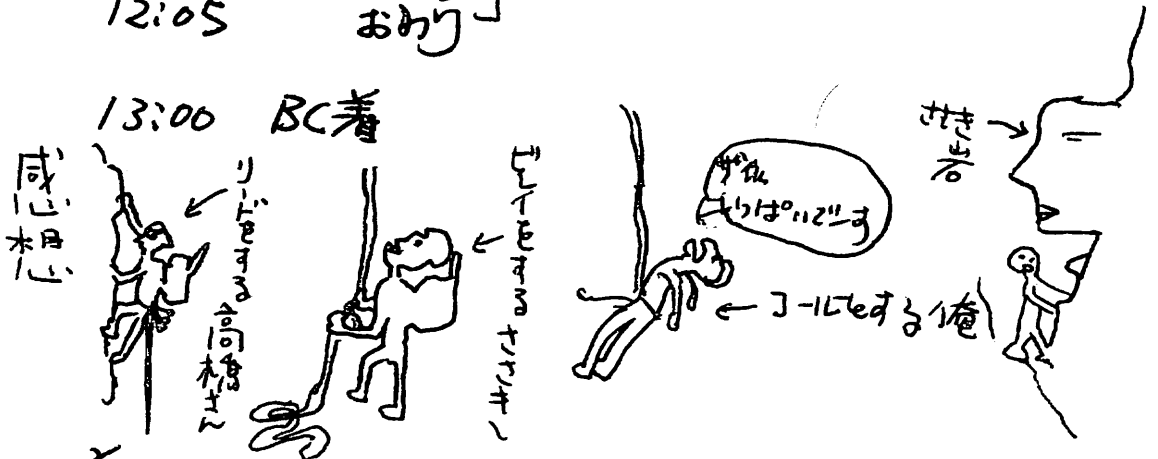
RCC

7:40 のぼり はじめ 4t₃ (35+35+40+48)
9:30 おわり

京大

10:45 のぼり はじめ 3t₃ (35+35+30)
12:05 おわり

13:00 BC着



京大は、入るのは難しいけれど、ルートは、かんたんた。

8月27日 C10-71 - L三本木 上地 高橋 佐々木

① 7:25 C7-2 又 全川 谷川 へ 取付

5:30 登り はじめ
4t₃ (39m)

① 7:55
8:00 2t₃ (40m)

① 8:20
8:23

① 9:00 3t₃ (20m) 1/2 記録更新

5:05
4t₃ (65m)

① 9:42
5:45 5t₃ (50m)

① 10:30 C7-2 又 取付

8月27日

Dパーティー 松本、はかた、

by はかた。

B.C. 猪.	645◎	Dフェース取付	1150◎
Aフェース岩小屋	700◎	Dフェースの頭	1330-1360●
取付	720◎ - 745◎	Aフェース岩小屋	1410●キ
V峰、一巻	1015◎ - 1025◎	B.C. 着.	1415●キ
Aフェース岩小屋	720◎ - 745◎		
	1120◎ - 1140		

● V峰、一巻

1P. 40m L はかた IV+, A0

2P. 20m L はかた IV-

どうもムニと。

この合宿では、変わったピクが
ほや、20mのピクもある小キジ
が、"ピジョン"。大キジが
"ピフン"。汚なくてゴタン。

●私ハ、ピフンE2回した。

1P目 1段上がるとハイマツ帯が取付。カシモ少し登り。
厳しいフェースから、浮石の多いフラットへ。最後は
浮石の多い凹角。ピンはサビサビとほやどない。

2P目 リッジから、1傾斜がおちたら、三ノ窓谷側の
フェースに回り込む。最後は再びリッジの左と
登るとピナクル上。

ピナクルから スカット 15m 道におちる。V・IVのコルまで
40分。

けちう厳しい、ピンもな、短いが、ピナクルに立つと最高で、
充実感いっぱいのおスナルート。なお、長次郎側には
のびるリッジ、フェースも登れそう(Ⅲ級?)。

● Dフェース 富山大

1P.	L はかた	4P	L はかた
2P.	L はかた	5P	L はかた
3P.	L はかた		

2P目後半のリッジ上フェースが核。久留米大の面白いと思う。

↓ P.385)

● RCCIL-T

⑤ 12:05 RCCIL-T 到着

12:00 岩屋
1 | 16:04 (50m)

● 12:45
548 | 20:04 (45m)

● 13:15
| 30:04 (50m)

● 14:03
| 40:04 (25m)

● 14:25 C区-2区

● 15:05 岩屋
513

● 15:30 B.C 着

感想

雨も降らず。
加圧機は、2回ほど。
しかし雨の中の登山は
最悪だった。RCCIL-Tは
持ちこたれず、行けず、
たまたまに5区と区すし、所も
取りました。

8A278 E11-11 L 田原 利信

● RCCIL-T

6:45 B.C 発◎

7:00 岩屋 ◎

7:40 登り始める ◎

5区、7区 35m, 40m, 30m, 45m, 15m

11:20 終了 ◎

12:15 岩屋 ◎

RCCIL-T は 8A278

加圧機は、2回、1回。

● 中大IL-T

12:30 登り始める ◎

13:30 岩屋 ◎

14:05 B.C 着 ◎

中大IL-Tは途中

雨が降ってきた

やめるところにたどり着いた

8/28 縦走隊

L 伴野, 博多, 松本(博), 山内, 原田.

- 8:50 B.C. 発 @
- 9:45 長次郎のツル @
- 10:25 剣岳着 @
- 12:10 B.C. 着 O

感想, F. ている時にカヌがきれてほれて
 まで. とら. ついとらんがた. But,
 ピークE. ぶあの何も言えない充実
 感ほ味あえたのでよがた.
 来年^{少し}は. ほれたらいいね!! 原chan

8月28日 AIC-71 L高橋IL・真太郎

D2-スタ留木大ルート 記録真太郎

- ◎8:45 BC 発 - 感想 -
- ◎9:00 岩小屋 27034 目のリングをAOで
- ◎9:20 D2-入取付 フリーで越せるがしい
- ◎9:25 登りはじまり - うまくなりたい。
- ◎10:25 17034 (50m) 前日の雨で岩がぬれて
- ◎11:15 27034 (25m) いてスラッグで非常に
- 37034 (45m) しんちゅうにのぼるため
- 47034 (40m) やた5時間がかかって
- ◎13:00 D2-入頭 しまった。頭に711で
- 13:30 晴れためほううれしかった。
- もううまくなりたい。

8/28 B110-ティー L三木さん、上山、佐々木

◎ B7-1入右方ルート

悪天候のため待期

8:40 B.C出発 ①

8:58 岩小屋 ②

9:10 取り付き ③

忘れ物を取りに帰る。

10:00 再び取り付く ④

1ピッチ 終る 10:30 (40m)

2ピッチ 4目リード中 落石により上山が真傷

3ピッチ 10:35 ~ 12:00 (45m)

↓ 1人私下降でリタイ

14:00 B.C着 ⑤

感想
上から石ががらんごんと
降りくる恐怖感はずい。
皆さん落石には気を付け
ましょう。忘れ物置いて
こぼれた。すみません

記録 佐々木 耕平

8月28日 C110-ティー L田尻さん 伊藤(和) 藤野

8:45 BC発 ①

9:10 岩小屋発 ②

9:35 B7-2ス東大ルート 取付 ③

1ピッチ 35m

2ピッチ 30m

3ピッチ 40m

12:20 B7-2ス a 頭 ④

13:15 岩小屋着 ⑤

13:30 BC着 ⑥

-感想-

A7-2スが じやまで太陽があたらず
寒くて死にかけた。3ピッチの
リフは 快足であった。明日は
家に帰ると思うとうれしいです。

8月29日 A パーティー

記録 松本浩

L 伴野, 三木, 佐々下, 市太郎, 上山, 山内, 松本

BC	5:22	○
真砂沢	8:40	①
	9:58	
ハシゴ谷乗越	10:25	①
	10:40	
内蔵助平	12:00	①
蔵脚谷出合	14:20	①
黒部ダム	15:53	①

<感想>

アイゼンなしでの朝の長次郎雪渓
 はやはりこわそう。危ないよ。
 でも特に事故もなく無事に下界
 にたどりつけてよかった。

8/29 B パーティー

L 高橋, 田尻, 博多, 伊藤利佳,
原田, 山内

熊ヶ岩 B.C. 発	515	○
真砂沢山荘	840	○
ハシゴ谷乗越	1030	○
内蔵助平	1430	①
黒部ダム	1610	◎

熊ヶ岩は遠い。しかしすばらしい B.C. だ。
 長次郎雪渓の下りは一年もアイゼンは必要と思う。
 もちろんアイゼンなしでもしっかり歩ける技術と身につけて
 いることは大前提だが。
 充実し、楽か、合宿はや、と終わった。

記. はかた.

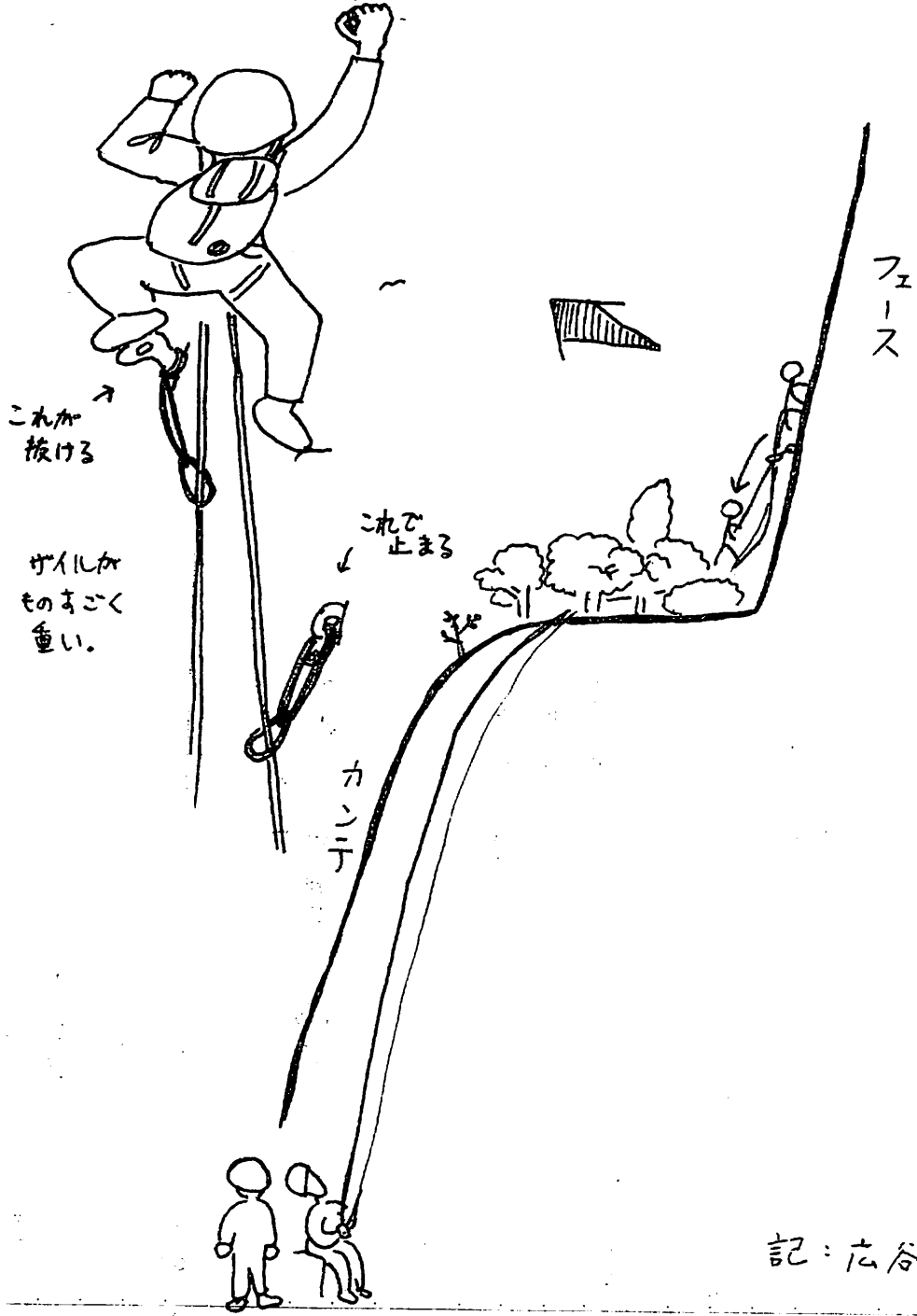
錫杖岳墜落報告

経過 7月29日 錫杖岳 前衛フェース 左方カンテルート 3P目。
状況 広谷かりート。ヒレイ点から上へ続いているカンテを
登り約20mでブッシュのあるテラスにフク。ここで支点を作
らうかと迷ったがそのまま通過。すぐにサイル半分のコールが
あった。ブッシュの向こうはフェースになっていて、10mほど上
方にちっとしたくぼみがあった。そこまででちょうど1ピッチ
分ではないかと思いつたため登り始める。ブッシュを通過
したため、サイルの流れは極めて悪く、困難な登りとなる。
7mほど登ったところに、きいていないハーケンがあり、シュリ
ンゲでタイオフしてランニングヒレイをとる。その場所を通
過するにあたり、手ごろなスタンスが見あたらず、どうして
も越えられないため、やむなくそのハーケンをぶちまける。サイルに
引、はられるため、体を持ち上げようとした時にかなりの重
量かそのハーケンにかかったと思われる。ハーケンを抜け、
そのまま5mほど墜落。一フ下のハーケンを効いていた
ためにそこで止まった。

直接の原因 ① ヒレイ点を作るべき場所で作らなかった。
② 効いていないハーケンを踏み、それが抜けた。(①のために
サイルが大変悪くあり、かなりそのハーケンに重量を
かけて立ちこもった。)

これらの行動を遂行に至る間接的な原因として、やはり経験不
足が挙げられる。(広谷は初めてのリード)しかしブッシュのあるテ
ラスを通過すればサイルの流れが悪くなるのは当然であり、そ
こで支点を作らなかったのは明らかに配慮不足である。また、続くフェ
ースは、技術的にも困難であり、そういう場所は、ヒレイヤーはトップの
見える位置でヒレイ点を作るべきだろう。この意味でもそこで支
点を作るべきであった。さらに、効いていないハーケンを踏むに
あたりは、細心の注意が必要であるにもかかわらず、サイルを引き上
げるために少々乱暴に踏んでしまった。この作用でハーケンを抜
けるような方向にも体重をかけてしまった。今回の墜落は、そもそ
も配慮不足が招いたものだと見える。

結論 経験不足は事前の練習と勉強と、細心の注意と
で補うべきである



記：広谷

私は去る8月13日、サマテンよりの山行として前穂高岳往復をしました。その時最終下山時刻を過ぎて下山したため、サマテン在留の現役留守（CK）、その他の方々に心配をおかけしました。この山行の経過、遅れた原因等報告いたします。

1. 山行計画書

- ・計画 サマテン—岳沢—前穂高岳—奥穂高岳—往路下山サマテン
- ・メンバー L松本穂高, 中村聡子 (部外者・金沢美大)
- ・最終下山時刻 20:00
- ・許可の理由 素人でもこれくらいは歩けると思う。(12日CK高橋さん)

2. 経過・状況

5時25分にサマテンを出発し、岳沢ヒュッテまでは順調に歩きました。ここで1時間ほど休憩しましたが、これは前日の夜二人とも一睡もしておらず、ここで昼寝をしたためです。この時点で奥穂まで行くことはあきらめました。ここからは次第にペースも遅くなりましたが、また道もだいぶん混んできており、下りてくる人の途切れを見つけては登るといいう状況でした。紀美子平に13時着ここで夕立ちにあい、山頂に13時55分着。またここでゆっくりしすぎ、山頂発15時10分、下りは普通のペースで歩きました。岳沢ヒュッテを18時30分に出、ここからかなり急ぎましたが、17時20分頃からヘッドライト行動となり、急激にペースが落ちました。サマテン着20時20分、最終下山時刻を20分過ぎました。

3. 原因

中村さんは山登りは初めてであり、私は事前から体力を知りかねていました。12時を過ぎた時点で引き返そうと考え相談しましたが、彼女は山頂まで行きたいと言い、私自身彼女が行きたいと言うのを押しきって下山する気はありませんでした。このことが直接の原因です。時刻が遅いのに山頂でゆっくりしてしまったこともまずかったです。

4. 考察

パーティーリーダーである限り、どんなに仲のいい友人同士であってもなれあい禁物です。今回はそのことを忘れ、山行に対する甘さが出てしまった結果であると思います。

作文

奴に思う

松本高志

僕はヤリ場のない怒りにふるえた。いったいだが、なにがこのような神聖な山をこんな奴の入山を許すようなところにしてしまったのだろう。山奥まで往々と延びるアクセス道路の開発、どこにでも簡単に移動できる自家用車の普及、山の縦走路などを華々と紹介する雑誌の氾濫、下界の民宿となんら変わることもない施設を持った山小屋の林立、そして整備されすぎた登山道。これらのために山は人であつた、真の自然の姿を知らない人まで気軽に軽装で山を訪れるようになってしまった。僕はこれらのものを憎む

しかし君自身これらのものをすべて利用しているではないか。そう確かに僕は利用している。でももしこれらのものがなくても僕は山に行くし山に行ける。道路がなければ作ってほしいなどと考えずいくらでも歩く。文献があるから読むのであつて、なければ別にほしいとは思わない。

ところが僕のそういう考えこそがこれらのものを助長しているんだ。もし本当に僕がこれらのものを憎むのだったら、これらのものがあつて使うはずがないじゃないか。君自身やはりこれらのものを望んでいるんだよ。

アウトドアブームによる最大多数の最大幸福の原理に基づく観光開発という美名を借りた山の破壊。現代社会を背景にした仕方のない流れなのである。と同時に僕自身その社会の一員として毎日動いているではないか！

奴とは、山の中ですれ違った年配パーティーの中の1人の男である。奴は僕のパーティーのキスリングをしょって歩いている女の子を見て「俺だったらこの人嫁さんには絶対しわえな」と豪語して笑った **てめーだよ**

もう夏の北アルプスには行くまいと思った。少なくとも奴らのうようよするような縦走路には

信州大学山岳会 会員名簿

伴野達也	松本市横田3-14-2三沢屋アパート 理、生物90S5022G 東京都八王子市松が谷35-4 CL.松本地区長、無線管理 四年 S46.4.12 O型 絳司	0263-36-3932 0426-76-0672	
高橋敦	上伊那郡箕輪村8304 中原寮 農、森林91A2044J 千葉県我孫子市栄15-11 SL.伊那地区長、会計 三年 S47.6.16 O型 元次	0265-78-4422 0471-84-0287	
田尻英秋	上伊那郡箕輪村8304中原寮 農、森林9235 神奈川県横浜市戸塚区南緯岡1-6-16 五年 S46.2.14 A型 清耳	0265-78-4422 045-823-5650	
藤江泰一	松本市堀橋2-3-2 山田克人方 経、政治24K211 神奈川県横浜市戸塚区上柏町516 五年 S44.4.5 A型 武久	0263-34-6260 045-823-3448	
長谷川哲也	松本市大村394-2 伊沢アパート5号 経、経営91K0181A 静岡県富士野宮市西小泉町35-1 三年 S47.7.2 O型 広司	0263-46-6122 0544-27-2793	
松澤朋子	長野市西町1048 たなか荘宅号 教、小国91E1012B 埼玉県所沢市南住吉23-11 三年 S46.11.22 O型 朗哲	0262-37-5254 0429-23-8054	
三木隆一	長野市栗田47倉石邸敷地内俗家 工、情報91T5083A 東京都大田区くが塚4-12-8 長野地区長、保険、遺対 三年 S43.7.8 A型 栄任	0262-26-2917 03-3752-0721	
博多誠	松本市元町3-8-21 若月荘213号 理、地質92S4025C 東京都杉並区松庵2-7-5 松本会計 二年 S47.5.21 AB型弘	0263-36-8763 03-3332-7383	
広谷智子	松本市元町1-8-23 理、生物92S5022D 山形県東根町営団大通り76 OB通信 二年 S48.1.1 B型 遠男	0263-33-8428 0237-47-1299	* 9月22日 退会
松本穂高	長野市西長野1091こかめハイソ202 教、中社92E3109C 茨城県つくば市梅園2-19-10 長野会計 二年 S48.12.28 O型 栄次	0262-33-0967 0298-51-4093	
石井大介	松本市織か崎6-24-1 信大駒草寮 経済93K0014E 川崎市宮前区神木本町5-1-11-302 一年 S49.5.11 A型 正義	0263-36-3690 044-855-4578	
伊藤利信	松本市里山辺北小松4001-14 2F二号室 農、資源93A3005A 名古屋市中村区元中村町1-89 一年 S49.3.19 O型 元信	0263-33-1038 052-461-4760	
伊藤勇太郎	松本市桐1-7-35 久保田アパートB五号 農、森林93A2005E 群馬県藤岡市上落合384-5 一年 S50.3.14 O型 正	0263-32-6939 0274-23-4807	
上山祐貴子	松本市織か崎6-24-2 信大駒草寮 教、小理93E1303K 兵庫県西宮市塩瀬町名塩4611-26 一年 S50.2.19 O型 健三	0263-36-3690 0797-62-1866	
佐々木耕平	松本市筑摩4-15-21エイブル21 102号 理、生物93S5010D 青森県西津軽郡柏村玉水19-4 一年 S49.5.3 A型 君夫	0263-25-4906 0173-25-2321	
竹元直亮	松本市織か崎4-13-31 春日兼史宅 農、森林93A2031D 長崎県平戸市戸石川378 一年 S48.4.29 A型 謙二	0263-34-0752 0950-22-3365	* 9月10日 退会

原田裕介 松本市岡田松岡511-1 柳原コーポ 203号 0263-46-6716
 農、生産93A1065C 名古屋市千代1-23-4 052-461-1028
 一年 S48.9.12 A型 邦彦

藤野稔 松本市岡田松岡17-2 松岡荘 別棟2 0263-46-6286
 医学93M0072A 福岡市博多区千代1-23-4 092-641-4769
 一年 S45.10.28 O型 武彦

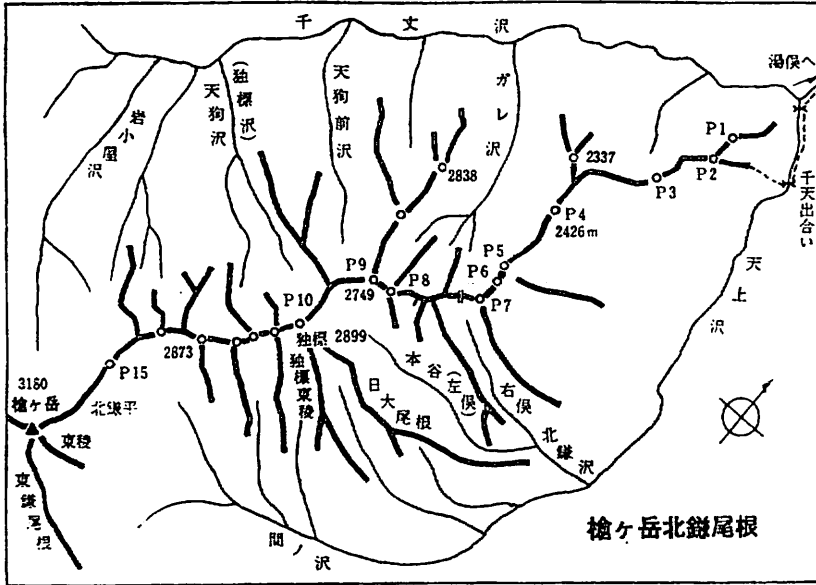
山内哲文 松本市岡田下岡田1426 砂原荘 0263-46-4261
 理、物理93S2038B 神戸市東灘区住吉山手8-13-25-205 078-811-1831
 一年 S49.12.21 O型 佐太郎

吉田政隆 松本市岡田松岡250-2 0263-46-7791
 理、生物92S5029A 埼玉県大宮市南中野110-16 048-687-5357
 一年 S49.1.4 O型 澄男

氏名	住所	電話番号
学部、学科、学籍番号	帰省先住所	その電話番号
役職 (山岳会) 年次	生年月日	血液型 保護者名

OB
 高橋雄治 南安曇郡穂高町北穂高836-6 0263-82-9473
 勤務先 松本さく泉 0263-34-2732

学生部学生係 係長 竹内 0263-72-4839
 関口 0263-34-2732



いづれのためによく研究してごころ

1993年 9月

' 93 夏山報告書

印刷・発行：長野部会

編集：松本

表紙：佐々木